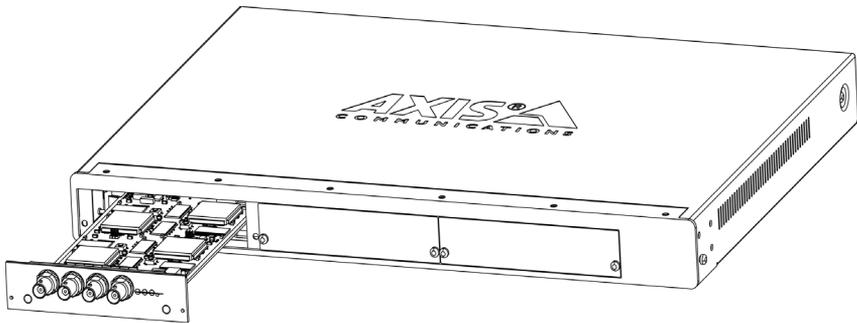
AXIS 291 1U ビデオサーバラック
インストールガイド

アクシスコミュニケーションズ株式会社
第 1 版（R1.1）

安全のために

本製品を安全にご利用頂くために、以下の事項を必ず守ってください。これらの事項が守られていない場合、感電、けが、火災、故障などの原因になります。

表示の意味は以下のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告！	データの消失やお使いの機器への損害を避けるために注意して読む必要があります。
重要：	操作上の損害を避けるために注意して読む必要があります。
⚠警告	この表示の注意事項を守らないと、火災、感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。
⚠注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、データや通信の消失、物的損害の発生する可能性があります。

異常時の処理について

⚠警告	万一、内部に水などが入った場合は、電源アダプタ本体をコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。
	万一、内部に異物が入った場合は、電源アダプタ本体をコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。
	万一、煙が出ている、異臭がするなどの異常状態のまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。すぐに電源アダプタ本体をコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
	万一、本装置を落としたり、ケースを破損した場合は、電源アダプタ本体をコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。
	電源コードが痛んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

取り扱いについて

⚠警告	本装置に水が入ったりしないよう、またぬらさないようにご注意ください。火災、感電、故障の原因となります。
	本装置の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電、故障の原因となります。
	弊社の指示がない限り、本装置を分解、改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
	弊社の指示がない限り、本装置のケースを外さないでください。電源部や内部に触れると火傷、感電、故障の原因となります。
	ぬれた手で本装置を操作しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
⚠注意	移動させる場合は、電源アダプタをコンセントから抜き、回線コードなど外部の接続線をはずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき火災、感電の原因となることがあります。

電源について

⚠警告

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

電源アダプタはコンセントに確実に差し込んでください。電源アダプタ(プラグ)の刃に金属などが触れると火災・感電の原因となります。

ぬれた手で電源アダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

タコ足配線はしないでください。火災、過熱の原因となります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理にまげたり、ねじったりしないでください。重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因になります。

近くに雷が発生したときは、電源アダプタや接続ケーブルなどを抜いてご使用をお控えください。雷によっては火災、感電、故障の原因となります。

⚠注意

電源アダプタを抜くときは、必ず電源アダプタ本体を持ってぬいてください。電源コードを引っ張るとコードが傷ついて火災、感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となることがあります。

設置場所について

⚠注意

直射日光の当たるところや温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所には置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

振動、衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

お手入れについて

お手入れの際は安全のために電源アダプタをコンセントから抜いて行ってください。

⚠注意

アルコール、ベンジン、シンナーなど、揮発性のものは使わないでください。変色、変形、変質や故障の原因となります。

静電気集塵型化学ぞうきんは絶対に使わないでください。故障の原因となります。

年に一度は電源コードを抜き、プラグおよびコンセントに付着しているゴミ、ホコリ等を取り除いてください。

このインストールガイドについて

このインストールガイドには、AXIS 291 1U ビデオサーバラックのビデオサーバラックへの取り付け手順やその他の補足情報が含まれています。

必要に応じて、内容を更新したインストールガイドをアクシスコミュニケーションズ株式会社（以下、Axis）のホームページで公開することがあります。

知的財産所有権

Axis Communications AB は、このインストールガイドに記載されている製品で具体化された技術に関連する知的財産所有権を保有しています。これらの知的財産所有権は、Axis Communications AB の Web サイトに記載されている 1 つまたは複数の特許、または、米国およびその他の国における 1 つまたは複数の追加特許、および特許申請中のアプリケーションを含んでいる場合があります。

http://www.axis.com/patent/.htm

電波に関する適合性

日本 – この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

責任

Axis は、このインストールガイドの技術的、印刷上の誤りについて、一切の責任を負いません。また Axis は、予告なく製品やインストールガイドの記載内容に対して変更、修正を行うことがあり、将来にわたるいかなる約束を表明するものではありません。Axis は、Axis 製品およびソフトウェアの使用の結果に生じた、偶発的な損害および間接的な損害、またこれらに付随する事業上の利益の損失、データの喪失、その他使用に起因して生じるいかなる損害に対しても責任を負いません。Axis は、このインストールガイドに含まれる記述、製品の商業価値および製品の特定用途に対する適合性について、明示的または黙示的な保証を一切いたしません。

サポートサービス

インターネットがご利用になれる場合は、技術サポート情報、更新された製品ソフトウェア（ファームウェア）、ユーティリティソフトウェア、会社情報など、下記のアドレスからご覧頂けます。

http://www.axiscom.co.jp/

その他

このインストールガイドの制作には細心の注意を払っておりますが、不正確な記述や脱落、乱丁または落丁を見つけられた場合は、info@axiscom.co.jp までご連絡ください。

AXIS 291 1U ビデオサーバラック 第 1 版（R1.1）

2009 年 6 月発行

製品の概要

AXIS 291 1U ビデオサーバラック（以下、AXIS 291）には、最大 3 個の AXIS ブレードビデオサーバを装着することができます。このインストールガイドでは、AXIS 291 への AXIS ブレードビデオサーバの取り付け方法やブレードに関する注意事項について説明しています。ブレードビデオサーバの使用方法などについては、AXIS ブレードビデオサーバの各マニュアルを参照してください。

AXIS 291 には、以下の AXIS ブレードビデオサーバを装着することができます（2008 年 4 月現在）。

- AXIS 243Q ブレード
- AXIS 241Q ブレード
- AXIS 241S ブレード

ハードウェアの開梱と検査

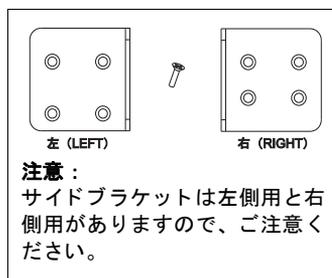
製品の梱包を開き、内容物を以下のリストと照らし合わせてください。不足しているものや破損しているものがあった場合は、お早めにご購入先にご連絡ください。

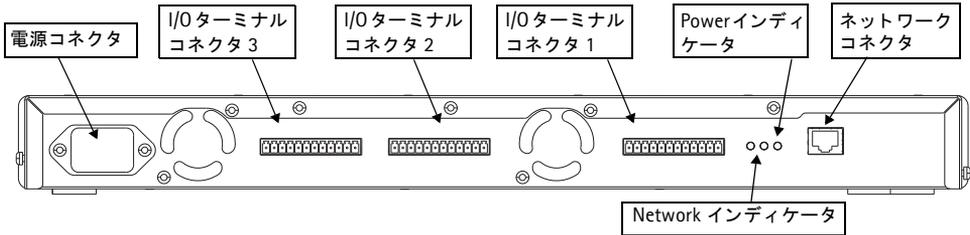
名称	備考
AXIS 291 1U ビデオサーバラック	ラック本体
カバープレート	フロントパネルカバー 1U（2 枚）
AC 電源ケーブル	米国、カナダ、日本
保証書	
マウンティングキット	詳細は次の「マウンティングキット」に記載

マウンティングキット

マウンティングキットには以下の物が含まれています。

名称	備考
ラバーフィート	本体底面用滑り止め（4 個）
サイドブラケット（左）	
サイドブラケット（右）	
M3x8 ネジ	サイドブラケット取り付け用（8 個）
M6x20 ネジ	他のラックに AXIS 291 を取り付ける場合に使用（4 個）
I/O ターミナルコネクタ	12 ピン（3 個）

注意：
サイドブラケットは左側用と右側用がありますので、ご注意ください。

AXIS 291 1U ビデオサーバラック

AXIS 291 のコネクタやインディケータについて説明します。

電源コネクタ - 入力電源：100 〜 240V AC、50 〜 60 Hz、1.9A

I/O ターミナルコネクタ - AXIS ブレードビデオサーバがサポートする外部デバイスとの物理的なインターフェイスを提供します。詳しくは、11 ページ「I/O ターミナルブロック」を参照してください。

Network インディケータ - 10M ビットネットワークに接続している場合は［10/100］が赤色で点滅、100M ビットの場合は緑色で点滅します。1G ビットの場合は［1000］が緑色で点滅します。

Power インディケータ - AXIS 291 に電源が投入されているときに緑色で点灯します。

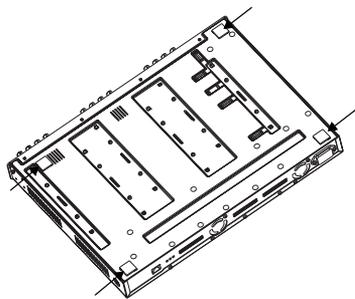
ネットワークコネクタ - 一般的な RJ-45 コネクタを利用して AXIS ブレードビデオサーバをネットワークに接続します。

設置環境

AXIS 291 は、以下の要件を満たす環境に設置するようにしてください。

- 周辺温度：0 度〜 45 度
- 相対湿度：20 〜 80%
- 電源を取るコンセントから 1.8 メートル以内に設置してください。
- 本体側面の換気口を塞がないようにしてください（最低でも 5cm 以上のスペースを開けてください）。
- ほこりの少ない場所に設置するようにしてください。

棚やテーブルに設置する

1. AXIS 291 の底面にラバーフィート（4 個）を取り付けます。
2. 平らな面に AXIS 291 を置きます。AXIS 291 の総重量は約 6kg になりますので、この重さに十分耐えられる場所に設置するようにしてください。

他の 19 インチラックに取り付ける

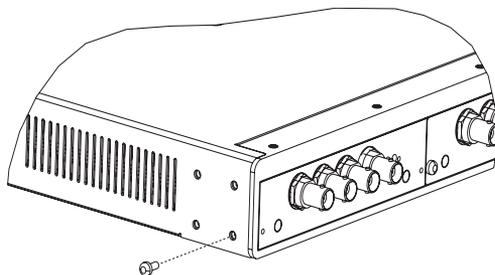
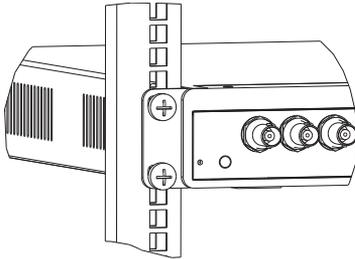
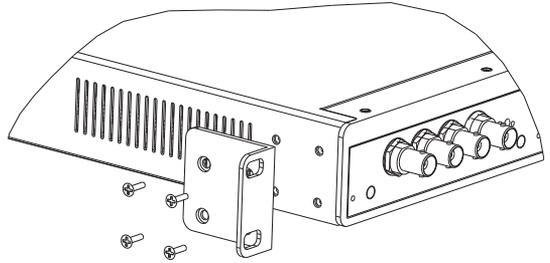
設置する前に

- ポジドライブドライバ（#1）を用意してください。
- ポジドライブドライバ（#3）を用意してください。
- 19 インチラックはボルトなどで床にしっかり固定してください。
- AXIS 291 は 19 インチラックと同じアース端子に接続してください。

AXIS 291 を 19 インチラックに取り付ける場合、AXIS 291 の上に他のユニットを積み重ねたりしないでください。AXIS 291 に付属のブラケットは、本体（1 台）以上の重みに耐えられるように設計されていません。19 インチラックに複数のユニットを取り付ける場合は、適切なブラケットを使用して個々のユニットをラックに取り付けてください。また、最も重いユニットをラックの一番下に取り付けるようにしてください。

サイドブラケットの取り付け

サイドブラケットには、左側（LEFT）用と右側（RIGHT）用があります。ブラケットに貼付されているラベルで確認するか、5 ページ「マウンティングキット」の図を参照してください。

1. 右図の通り、AXIS 291 の左右側面の手前下のネジを取り外します（取り外したネジ穴には、ブラケットを取り付けるための専用のネジを使用します）。

2. M3x8 ネジを使用して、サイドブラケットを本体の側面に固定します。手順 1 で取り外したネジは使用しないでください。
3. AXIS 291 を 19 インチラックに収納します。付属の M6x20 ネジを使用して下図のように AXIS 291 を固定してください。

電源を接続する

AXIS 291 には電源のオン / オフを行うスイッチやボタンがありません。電源ケーブルを電源コンセントに接続すると、AXIS 291 の電源が入ります。AXIS 291 の電源を切る場合は、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

また、以下の点についてご注意ください。

- 感電を防ぐため、AXIS 291 の付属の電源ケーブルを正しくアースされた コンセントに接続してください。
- 過電流、地絡、およびショートなどから AXIS 291 を保護する機器を施設内に用意するようにしてください。
- AXIS 291 は屋内専用機器です。また、TN および IT システムでの使用を目的としています。
- AXIS 291 に装着できるのは AXIS ブレードビデオサーバのみです。
- AXIS 291 の内部に異物が混入した場合は、まず AXIS 291 の電源を切ってから異物を取り除くようにしてください。

電源の仕様

- 入力電源：100 ～ 240V AC、50/60Hz
- 入力電流：1.9A
- 消費電力（AXIS 243Q を 3 枚装着した場合）：最大 80W

AXIS ブレードビデオサーバ

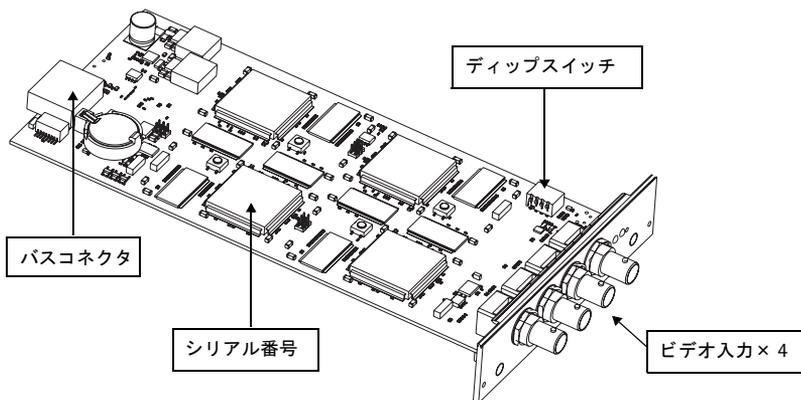
AXIS 291 には、以下の AXIS ブレードビデオサーバを装着することができます（2008 年 4 月現在）。詳細につきましては、下記のマニュアル類を参照してください。

製品	ドキュメント名称
AXIS 243Q ブレード	「AXIS 243Q ブレードビデオサーバユーザーズマニュアル」をご覧ください。
AXIS 241Q ブレード	付属の「ビデオサーバラックインストールガイド」にハードウェアの概要が記載されています。ブレードビデオサーバの使用方法や設定については、「AXIS ビデオサーバユーザーズマニュアル（AXIS 241Q/241S）」をご覧ください。
AXIS 241S ブレード	

シリアル番号（S/N） - ユニット固有の MAC アドレスになります。たとえば、ビデオサーバのシリアル番号が 00408C1A2B3C の場合、MAC アドレスは 00-40-8C-1A-2B-3C のようになります。

製品番号（P/N） - 製品番号が記載されています。

バスコネクタ - AXIS 291 の I/O ターミナルブロックに接続するためのインターフェイスです。

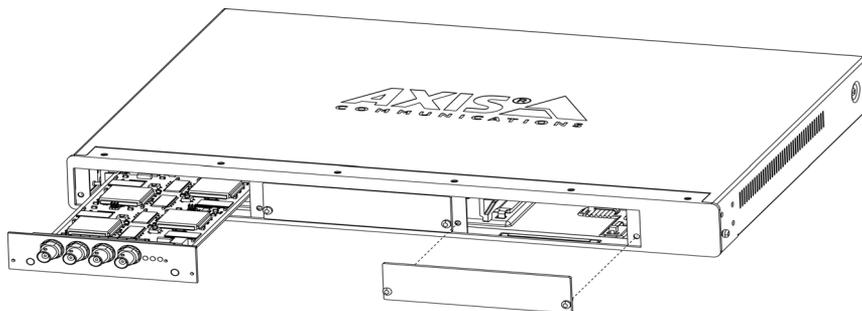
ディップスイッチ（4 ポートモデル） - 各ビデオ入力に対応するライン終端抵抗を設定します。4 ポートモデルの AXIS ブレードビデオサーバは、各ビデオ入力のライン終端抵抗が有効に設定された状態で出荷されています。つまり、ディップスイッチが下（ON）の位置に設定されています。ビデオサーバを他の機器と並列に接続する場合は、ディップスイッチを OFF（上）に設定して終端抵抗を無効にしてください。終端抵抗の設定が正しく行われていない場合、画質が損なわれることがあります。

AXIS 243Q ブレードビデオサーバの場合

ディップスイッチ（1 ポートモデル） - 1 ポートモデルの AXIS ブレードビデオサーバは、コンポジットビデオまたは Y/C ビデオと接続することができます。コンポジットビデオと Y/C ビデオの切り替えは、次の表を参考にディップスイッチの設定で行ってください。

スイッチ	1	2	3	4
説明	75 オーム ビデオ入力終端	75 オーム ビデオ出力終端	ビデオ入力および ビデオ出力を接続	未使用
コンポジットビデオ入力	ON	OFF	ON	N/A
Y/C ビデオ入力	ON	ON	OFF	N/A

AXIS ブレードビデオサーバを AXIS 291 に取り付ける

AXIS 291 には 3 枚の AXIS ブレードビデオサーバを装着することができます。本体前面のスロット（ビデオサーバ装着部）は、左から 1 ～ 3 の番号が割り当てられています。本体背面の I/O ターミナルコネクタにもスロットと同じ番号が割り当てられています。

1. ビデオサーバを装着するスロットのフロントパネルカバーを取り外します。パネルカバーを固定している左右 2 箇所のネジを外してください。
2. ビデオサーバの上下を確認し、スロットに合わせて差し込みます。
3. フロントパネルカバーを固定していたネジを利用してビデオサーバを取り付けます。

注意： 使用していないスロットには必ずパネルカバーを取り付けておいてください。

I/O ターミナルブロック

AXIS 291 の 12 ピンの I/O ターミナルブロックは、AXIS ブレードビデオサーバが対応する外部デバイスとの接続インターフェイスを提供します。

- **デジタル入力** - ドアベルを例とした場合、ドアベルが押されてそのステータスが変更されると入力がアクティブになります（ビデオサーバの設定ページ（[Setup] - [Event Configuration] - [Port Status]）に表示されます）。
- **デジタル出力** - アラームデバイスを例とした場合、[Live View] ページの Output ボタンで動作させたり、Event Types に登録して動作させることができます。アラームデバイスが動作すると、ビデオサーバの設定ページ（[Setup] - [Event Configuration] - [Port Status]）に Active と表示されます。
- **RS-485** - パン / チルト / ズームデバイスなどを接続するためのインターフェイスです。

ピン配列

ピン配列については、各ブレードのマニュアルを参照してください。

以下の手順にしたがって、AXIS 291 のターミナルブロックに入力 / 出力デバイスを接続してください。

1. AXIS 291 の電源を切ります。
2. AXIS 291 に付属しているターミナルブロックを取り出し、使用するピン上のネジをゆるめます（使用するピンの選択は上記の表を参考にしてください）。
3. ケーブルをコネクタに差し込み、ネジをしめて確実に取り付けてください。
4. すべてのデバイスを接続したら、メスのターミナルブロックを AXIS 291 のターミナルブロックに接続してください。すべてのケーブルがしっかり固定されていることを確認してください。